第　　１４５　　号
令和　８年１１月２０日

丹波篠山市教育長　様

丹波篠山市立たき認定こども園園長　谷掛　晴子

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第２回　たき認定こども園学校運営協議会実施報告書

１　学校運営協議会の開催について

(1) 開催日時　　令和８年１１月１２日(木)　９ 時３０分～ １１ 時２５分

(2) 開催場所　　たき認定こども園　保育室、園庭並びに職員室

２　出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏　　名	所属等	出欠	氏　　名	所属等	出欠
江坂　道雄	一般社団法人おくも村	○	谷掛　晴子	たき認定こども園	○
粟野　勝浩	村雲まちづくり協議会	○	中西　多恵	たき認定こども園	○
垣内　敬造	篠山チルドレンズミュージアム	○			
畑　早苗	学識経験者	○			
酒井　道子	学識経験者	○			
小畠　慶子	はばたき会（PTA）	○			

３　傍聴人数　（０）名

４　防災訓練参観

・毎月１回、防災訓練を実施している。本日は“園近くの民家より出火”という想定で防災訓練を行いその様子を参観していただく。保育教諭等の連携した動きや園児が保育教諭の話を聞き、落ち着いて素早く避難する様子を見ていただく良い機会になった。

５　議題及び会議の公開又は非公開の別（協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること）

主な協議事項及び主な意見内容（審議の概要）

・第９回防災訓練について【公開】

○毎月様々な想定のもと、ねらいをもって防災訓練を行っている。今月は“園近くの民家より出火”という想定で防災訓練を行った。

◎運営協議委員さんより

・園児はしゃべらずに静かに避難しており、また集まった後も静かに待っていた。毎月行っていることが身につき、訓練の積み重ねを感じた。

→年度当初は集まっても話をしたり砂を触ったりする園児もいたが、訓練を理解して集まってからも静かにできるようになった。

・『いかのおすし』は知っていたがが『おはしもち』は初め聞いた。

・今日は晴れていたので外に避難したが、雨の場合はどうしているか？

→出火場所から離れたテラスに集まるようにしており、防災訓練の想定によって集まる場所も変えている。

・最終確認の方法（各部屋の入口にマジックテープで部屋の名前カードを貼り、最終確認をする

と名前カードを外す。そうすることで、確認したかどうかが一目瞭然になり、確認漏れも防げる。）がよかった。他の施設でもこの方法が使えるのではないか。
→園内の防災部の職員がこの方法を考え実施している。
毎月の訓練の他に消防署にお世話になり職員の消火訓練や消防本部への直通電話の訓練等も実施している。その時に消防署の方からも先の確認方法はよい方法だと言われた。さらに実際に避難して建物から出ると電話ができないため職員は携帯電話を携帯するよう指導を受けた。よって、職員全員ではないが常に携帯電話を携帯している。
・熊本地震の後も職員は携帯電話を携帯するような呼びかけがあった。実際に起きたことからの学びを生かしていけるとよい。
→職員は携帯電話の他に常に名札をかけており、その名札の中には園児全員の名簿、救急時の対応マニュアルを入れて緊急時に備えている。また笛もつけておりそれを鳴らすことで、緊急事態を知らせることができるようにしている。

・たき認定こども園学校運営協議会主催事業について【公開】
○本年度は市内在住でヨガ・ピラティスインストラクター兼整形外科のデイケア施設にて運動機能の改善を目標に運動指導をされている別納真紀さんを講師にお招きし、０～３歳児、４～５歳児と年齢に合わせた“親子ヨガ”並びに講演会を行う。
今回は親子ヨガを楽しんだ後、講師先生の手作り絵本を見せていただきながら子育てついて講演をしていただく。

・園運営及び園児の様子について【公開】
○安心・安全な園づくり
【防災訓練・防犯訓練】
・昨年９月から園児を保護者に安全に確実に引き渡すことを目的に保護者名札着用を実施しており、定着している。
・毎月、様々な想定で防災訓練を実施している。今年度は１０月に市役所市民安全課からご提案いただき丹波篠山市消防団女性班の方による防災教室も合わせて行った。
・新たな取り組みとして、篠山警察署、多紀小学校、たき認定こども園合同で不審者侵入を想定した防犯訓練を１１月１３日に行う予定である。今回は園庭で遊んでいる時に運動場に不審者が侵入したため園舎に避難するという訓練で、当日不在の職員もいる中、職員同士連携しながら園児や自分たちの命を守る行動を学ぶことを目的としている。
・今後もあらゆる災害を想定し、いかなる状況でも園児の安全を確保できるよう訓練等実施し、有事に備えていきたい。

○地域に開かれた園づくり
【園の取り組み】
・春の遠足（３～５歳児）では、たき認定こども園学校運営協議会の委員の方に引率していただいた。その際、チルミューでお菓子を自分で購入する買い物体験を行った。その様子も見守っていただき安全で楽しい遠足となった。
・行事に必要な笹の準備やビオトープづくりの材料をわけていただくなど、保育環境の整備にご協力いただいた。
・１０月２２日（木）はオープンスクールを実施し、普段の保育の様子を参観いただいた。同日２．３歳児及び０～３歳児の保護者対象に食育講演会を実施した。栄養士の方に園児向受けおよび保護者向けの栄養や食育の講演をいただき、その後園給食試食会を実施した。参加された

保護者からは“園給食に野菜がふんだんに使われている”“子どもが喜んでいるのが分かった”等高評価をいただいた。

○小学校・保育園・こども園等との連携

【小学校との交流】

・５歳児と１年生は定期的に交流を行っている。

・昨年度から実施している多紀小学校・たき認定こども園合同運動会では『多紀町音頭』を３年生に教えてもらい関わることができた。

・園児と生徒の交流だけでなく相互参観を計画し１０月には小学校の授業を参観させていただいた。園の保育参観は１２月に予定しており、小学校の先生方に園児の様子を見ていただく。

◎運営姜議員さんより

・相互参観はよい取組だと思う。隣接している施設だからできるのではないか。

→これまでは実施できなかったが、本年度計画をたて実施することになった。小学校の先生方には単に園児の様子を見るのではなく、見るポイントを伝えて幼児教育の理解に繋がるようにしたい。参観期間を１週間程度設けることで、１年生担任の先生以外多くの先生方に見ていただけるように計画している。

【他園との交流】

・今年度、多紀小学校のプール開始が９月になりそれに伴って本園でも４・５歳児が１学期にプールに入ることができなくなった。またプールサイドの使用もできなくなり３歳児のプールも設置できなくなった。そこで、園児に夏の遊びの体験を保証するため西紀きた幼稚園、城南幼稚園とプール遊びを取り入れた交流を実施した。またこの交流をきっかけにプール終了後は本園に西紀きた幼稚園児が来園するなど交流が深まった。１２月にはかやのみ幼稚園が来園予定である。

【その他の交流】

・芸術士（フォグアーツプロジェクト）の方に年間６回園にお越しいただき、様々な素材を使う遊びから制作活動を指導していただいた。園児の自由な発想を引き出し大事にした活動ができ貴重な経験ができた。

また夏季休業中には本園の４・５歳児担任が中心となり、芸術士さんを講師に迎え 幼稚園の先生方向けの研修も行った。

・昨年度からの継続で“体操のお兄さん（内藤裕希先生）”に定期的に来園いただき、体を動かして遊びながら園児の成長についてご指導いただいている。

・篠山東雲高校３年生が“ふれあい育児体験”という授業の一環で本園に来園され高校生が考えたゲーム等を５歳児に指導し楽しい時間を過ごした。また４・５歳児は春、秋に篠山東雲高校を訪問し野菜や花の苗を購入し栽培の仕方も指導していただき、立派な野菜を収穫することができた。

今後も自然や地域の方々とのふれあいを通して思いやりの心を育てていきたいと思う。

◎運営協議会委員さんより

・９月の地域連携関係者研修に参加した際、グループ協議で「同じ地域内にコミュニティースクールが２～３ある（小、中にそれぞれ組織されているため）のはどうか、それによって課題がある（具体的な課題は把握できなかった）」と言われていた。これについて、そもそもコミュニティースクールはどのようなものか？学校運営協議会と同じか？等理解できていいないことがあると思った。

・他の委員さんもコミュニティースクールについてはっきり説明できない、理解が曖昧であるこ

とが分かった。しかしながら、今行っている取組で問題ない。今後も園児のため園、地域、家庭が協力し合あえる体制を整えていきたい。

・村雲コミセン利用について、室内遊具を設置した。来年２月から利用してもらえる。利用する前には予約を入れる。

・その他【公開】

・１２月１１日（金）冬のお楽しみ会、２月１９日（金）生活発表会・保育参観を実施する。

6　会議資料の名称

・第９回防災訓練について【資料１】
・たき認定こども園学校運営協議会主催事業について【資料２】
・園運営及び園児の様子について【資料３】

7　次回開催予定

・第３回学校運営協議会　主催事業
　開催日時　　令和８年１１月２０日（金）９：３０～１２：３０
　開催場所　　たき認定こども園
・第４回学校運営協議会
　開催日時　　令和９年２月　　日（　　）　　時　　分～　　時　　分
　開催場所　　たき認定こども園

※　「出席状況」は、出席の場合には〇、欠席の場合には×を記入願います。
　欠席の場合、出欠欄に欠席事由を簡潔に記入ください。（仕事・別会合出席・その他）